

1. 科目名 (単位数)	解剖生理学Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	EDHE2322						
2. 授業担当教員	宮下 俊雄・萩原 治夫									
4. 授業形態	講義、ディスカッション、質疑応答、課題発表。簡単な実験も行う。	5. 開講学期	秋期							
6. 履修条件・他科目との関係	「解剖生理学Ⅰ」を履修しておくこと									
7. 講義概要	解剖生理学Ⅱでは、解剖生理学Ⅰでの学習を基盤として、人体を構成している骨格系、筋系、神経系、感覚器系、内分泌系、脈管系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の各器官系の成り立ちと生理機能について学習する。さらに各器官系を統合し、内部環境のホメオスタシスを維持している調節機構について学び、一生命体としての個体の営みはどのようになされているかについて考える。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体各部の組織・器官・器官系の名称とその位置を、自分の体で確認できるようにする。</li> <li>2. 人体構造の発生、成長、老化について、動物進化の過程と関連付けて理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 生体機能の調節機構、およびホメオスタシスの維持について理解し、説明できるようになる。</li> <li>4. 脳機能の分化と発達について理解し、説明できるようになる。</li> <li>5. ヒトの形態・生理機能と病気・ケガとの関連を理解し、基本的対応ができるようにする。</li> <li>6. 病気の予防における基本的知識を深め、説明できるようになる。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題：(1)脳の高次機能、(2)循環系、(3)消化に関して、その生理的機能と構造についてまとめる。それぞれレポート用紙に2枚程度。図やイラストを含めてもよい。参考文献を記すこと。									
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 照井直人 (編) : 『はじめの一步のイラスト生理学 改訂第2版』 羊土社 <b>【参考書】</b> 河田光博/三木健寿/鷹股 亮・編 『解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 (栄養科学シリーズNEXT)』 講談社サイエンティフィック その他、必要に応じてプリントを配布する。									
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体構造の特徴を踏まえて、各組織・器官・器官系機能の相互関連について理解しているか。</li> <li>2. 簡単な実験から、生理機能について理解を深めたか。</li> </ol> ○評定の方法 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート・発表</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%	2. 課題レポート・発表	30%	3. 期末試験	40%
1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%									
2. 課題レポート・発表	30%									
3. 期末試験	40%									
12. 受講生へのメッセージ	人体のしくみは神秘に満ちており、精巧にできています。授業中は、緊張感と集中力を保って受講し、質問して、人体のしくみを理解しましょう。 欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告してください。 また、私語、スマホの使用、無断退出、他の授業のレポート書きなど、授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。									
13. オフィスアワー	講義時間の前後									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	生体調節メカニズムと細胞膜の生理学	事前学習	教科書 pp. 14~26 を読んでおく。							
		事後学習	人体の構造のもととなる細胞の機能を理解する。							
第2回	ニューロン・シナプス	事前学習	教科書 pp. 28~38 を読んでおく。							
		事後学習	ニューロンの構造、シナプス伝達を理解する。							
第3回	筋系、運動	事前学習	教科書 pp. 39~44、79~88 を読んでおく。							
		事後学習	筋の生理と機能、運動制御のメカニズムを理解する。							
第4回	視覚	事前学習	教科書 pp. 52~59 を読んでおく。							
		事後学習	視覚器の機能を理解する。							
第5回	聴覚	事前学習	教科書 pp. 60~69 を読んでおく。							
		事後学習	聴覚器の機能を理解する。							
第6回	体性感覚、味覚、嗅覚	事前学習	教科書 pp. 45~51、70~78 を読んでおく。							
		事後学習	体性感覚受容器、味・嗅覚器の機能を理解する。							
第7回	自律神経系、脳の高次機能	事前学習	教科書 pp. 89~102 を読んでおく。							
		事後学習	自律神経系、脳の機能から人の行動制御を理解する。							
第8回	血液、体液、循環系①	事前学習	教科書 pp. 104~115 を読んでおく。							
		事後学習	血液や体液の機能とその循環を理解する。							
第9回	循環系②	事前学習	教科書 pp. 116~128 を読んでおく。							
		事後学習	心臓の構造と機能を理解する。							
第10回	呼吸	事前学習	教科書 pp. 129~138 を読んでおく。							
		事後学習	呼吸の調節・換気メカニズムを理解する。							

第11回	消化・代謝	事前学習	教科書 pp. 139～154 を読んでおく。
		事後学習	消化器系における吸収や分泌、栄養の代謝について詳しく理解する。
第12回	泌尿器系	事前学習	教科書 pp. 155～163 を読んでおく。
		事後学習	泌尿器系の構造と機能を理解する。
第13回	体温調節、内分泌	事前学習	教科書 pp. 164～182 を読んでおく。
		事後学習	体温調節機構、内分泌器官の構造と機能を詳しく理解する。
第14回	生殖	事前学習	教科書 pp. 194～203 を読んでおく。
		事後学習	生殖のメカニズム、生殖器の構造と機能を理解する。
第15回	まとめ	事前学習	ノートなどにまとめてきたことを整理する。
		事後学習	解剖生理学全般について質疑・応答の内容を含めてまとめる。
期末試験			